福祉とやま

ふれあいネットワーク　(福)富山県社会福祉協議会広報誌　No.452　2020 7月号 July

アットホームな雰囲気の中で健康体操：射水市の「イヤサー新湊」

目 次　contents

特集 P2～4　誰でもなりえる病気、依存症への支援の取り組みについて

情報フラッシュ
県健康・福祉人材センターから …… P5

知っておきたい福祉情報　社会福祉施設経営相談室から
運営適正化委員会事業報告
令和2年度富山県総合防災訓練のお知らせ …… P6

我が社会福祉法人の地域における公益的な取組
令和2年度 福祉用具・アイディアコンクール 作品募集!!
全社協刊行図書を5%オフで購入できます …… P7

NPO法人の紹介　特定非営利活動法人 放生津(射水市)
あかいはねトピックス …… P8

ボランティアグループ紹介
滑川キラリン 脳トレクラブ(滑川市) …… P9

企業のトップが考える「地域との共生」
株式会社フードシステム代表取締役社長 魚谷和彦氏 …… P10

賛助会員の皆様におかれましては、
格別なご支援をいただきありがとうございました …… P11

フリートーク　特別養護老人ホームだいご苑　施設長 野村 幸伸さん
寄付報告
県社協のおもな動き/編集後記 …… P12

スマートフォン用アプリ「Uni-Voice」
または「Uni-Voice Blind」を使えば
情報を音声で読み上げると同時に、テキストで表示されます。

この広報誌は共同募金の助成を受けています。

特集

誰でもなりえる病気、依存症への支援の取り組みについて

アルコールや薬物などよく知られている依存症のほか、ギャンブル依存やネット依存、ゲーム依存など新たな依存症やそれに悩む家族が増えています。2018年、富山県心の健康センターに富山県依存症相談支援センターが設置され、依存症者や家族の支援を行っています。

富山県心の健康センター内の依存症相談支援センター

気をつけて！ストレス社会に生きる現代人

仕事や人間関係がうまくいかない、子育てに困っている、借金があるなど、誰もが悩みを抱えながら生きているのではないでしょうか。さまざまな要因から過度な飲酒やギャンブル、ゲームにのめり込み、依存に陥る人が急増しています。たとえば、アルコール依存者は国内で約100万人、単純に計算すると富山県内では約1万人にのぼるとされます。「自分で自分をコントロールできない」「家族に嘘をついてでもやりたい」「もうしないと約束しても続かない」「やめたくてもやめられない」…依存症は誰でもなりえる病気なのです。

どんな依存症があるのか

■アルコール依存症

"酒は百薬の長"といわれますが、過度な飲酒はアルコール健康障害の原因ともなります。近年では、退職後の高齢者、30代、40代の女性の依存者が増えており、注意が必要です。節度ある適度な飲酒を一人ひとりが考えてみましょう。

■薬物依存症

シンナーや大麻、危険ドラッグ、覚せい剤などの依存性薬物は脳内報酬系という快感中枢を直接刺激する性質を持っています。薬物の乱用によって生じた脳の慢性的な異常状態で、薬物使用を止めようと思っても強い渇望のため薬物使用を止められません。

■ギャンブル等依存症

パチンコや競輪、競艇、競馬などのギャンブルに心を奪われ、仕事や家庭生活に大きな支障が出ても、なおギャンブルがやめられなくなる病気です。国内では約500万人もの罹患者が存在するとされています。

アルコール依存症のように身体症状がないため、病気として認識されず、意志の弱い人など、個人の性格の問題として扱われやすい現実もあります。"適度にギャンブルを楽しむ"ことは困難ですが、いったんギャンブルから遠ざかることができれば、回復することは可能とされています。

■ゲーム依存症・ネット依存症

スマホ等でゲーム、オンラインでプレーをすることが優先され、エスカレートしていくと、不登校や成績の低下、オンラインゲームの課金、居眠り、仕事上のミスなどが目立つようになります。未成年者は脳の発達が未熟なため、早期発見と早期治療が重要です。

本人・家族で悩まずにまず相談を

富山県依存症相談支援センター（富山県心の健康センター）では、依存症の相談拠点として、本人・家族への支援を行っています。具体的には、薬物・アルコール依存症本人の回復プログラムとして「とやま～ぷ」を実施しています。これは「SMARPP（スマープ：せりがや病院覚せい剤再乱用防止プログラム英語名の略称）」という認知行動療法の一部を用いたワークブックによるグループでのプログラムです。これまでの飲酒や薬物使用を振り返り、アルコールや薬物を断つにはどうしたらいいか、再使用してしまったらどうしたらいいかを一緒に考えます。

ギャンブル等依存症回復プログラムは「SAT-G（サットジー）」を実施しています。これは、島根県で開発されたギャンブル障がい回復トレーニングプログラムで、全国各地に普及しています。このほか、薬物・ギャンブル等依存症の家族教室などで、「CRAFT（コミュニティ強化と家族トレーニング）」を紹介しています。

相談や回復プログラムの費用は無料です。本人・家族で抱え込まず、みんなで一緒に自分らしい生活の仕方を探してみませんか。

参考文献：「アルコール依存症、薬物依存症、ギャンブル依存症ってどんな病気？」（依存症対策全国センター：ホームページ）、「お酒について知っておきたいこと」（富山県厚生部健康課発行）、「こころの健康だより」NO.40、41、42（富山県心の健康センター発行）、「アルコール・薬物等依存症対策リーフレット」（富山県心の健康センター発行）

回復可能な病気　ギャンブル依存症

富山県心の健康センター
所長 麻生光男さん(精神科医)

成功体験が原因のひとつに

依存症は"誰でもなりえる"病気です。アルコール、ギャンブル……「楽しい」と感じたことがきっかけで、やり続けるうちに誰でも罹るのです。ギャンブルで例えると、ビキナーズラック。一度やったら大当たりして、それがきっかけで通ったらまた大当たり……ギャンブル依存者にはそういった成功体験がある人もいると言われています。

近年、私は依存症の中でも特にギャンブル等依存症を危惧しています。アルコール依存症は内臓疾患など身体に症状が現れるため、医療機関を受診したり、多くの支援グループがあって助けを求めたりできるのですが、ギャンブル等依存症については支援する場が少ないのが現実です。ギャンブルを代表するのがパチンコ・パチスロ。依存すると、不眠症やうつ状態を悪化させ、自殺の危険も高まります。借金をしてでもやり続ける人が多く、家庭崩壊を招いたり、横領などの犯罪に至る危険性もあるのではないでしょうか。

今まで家族が本人のために良かれと思ってしていたことが、問題を長引かせる要因になっていたということもあります。たとえば、ギャンブルでの借金を家族が肩代わりしていたといったことです。家族としての正しい関わり方がとても大切になります。しかし、支援のし方を理解するには時間がかかります。そのための家族教室や本人や家族の集まりもあります。

ゲーム依存低年齢化

スマホが急速に普及し、ゲームに対する依存が近年問題化しつつあります。PCでは顕在化してこなかったのですが、いつでもどこでも気軽にゲームが楽しめるスマホの登場によって、ゲームへの依存が高まっているわけです。電子機器によるゲームは面白く、高校生から中学生、小学生へと依存はどんどん低年齢化しています。

ゲームに没頭するあまり食事を取らないことも問題です。若いにもかかわらず、骨密度が下がったり、低栄養であったり、目に異常が現れたりすることも報告されています。

規則正しい生活を送ること、家庭内でのコミュニケーションをとることが大事です。

ギャンブルに関する10の質問(自己診断チェックリスト)

●5個以上当てはまる人

病的ギャンブラーの可能性がきわめて高い人です。ぜひ早期治療を。「病気」だから治すことができるのです。

●3個以上当てはまる人

ギャンブルの楽しみ方を今一度見直してください。

□ギャンブルのことを考えて仕事が手につかなくなることがある。
□自由なお金があると、まず第一にギャンブルのことが頭に浮かぶ。
□ギャンブルに行けないことでイライラしたり、怒りっぽくなることがある。
□一文無しになるまでギャンブルをし続けることがある。
□ギャンブルを減らそう、やめようと努力してみたが、結局ダメだった。
□家族に嘘を言って、ギャンブルをやることがしばしばある。
□ギャンブル場に、知り合いや友人はいない方がよい。
□20万円以上の借金を5回以上したことがある、あるいは総額50万円以上の借金をしたことがあるのにギャンブルを続けている。
□支払予定の金を流用したり、財産を勝手に換金してギャンブルに当て込んだことがある。
□家族に泣かれたり、固く約束させられたりしたことが2度以上ある。

※参考文献：田辺等『ギャンブル依存症』(日本放送出版協会)、2002

○問い合わせ先
富山県依存症相談支援センター(富山県心の健康センター)
富山市蜷川459-1　TEL 076-461-3957

クローズ・アップ！依存症からの回復、手助け

依存者の社会的自立を目指し、薬物やアルコールを使わない生き方のプログラムを実践しているNPO法人 富山ダルクリカバリークルーズ(富山市)の代表理事、林敦也さんに活動への思いを伺いました。

代表理事、林敦也さん

Q どのような施設ですか

A 薬物、アルコール、ギャンブル依存者が入寮している施設で、職員6人で運営しています。依存症から回復するための場所と時間を共有し、回復した仲間(スタッフ)と間近に接しながら、12ステップ(回復の指針)に基づいたプログラムによって新しい生き方の方向付けをしていきます。

16人の入寮者は全員が県外出身者です。生まれ育った環境で

はなく、それまでの人間関係を断って新しい環境で再出発してもらいたいからです。富山県内の方から相談を受けた場合、現在の生活状況を聞いたあとで県外のダルクを紹介します。全国各地のダルクとネットワークを組んで依存者を支援しています。

刑務所に入所中の受刑者から「薬物を二度と使わないと決心しても社会に出ると孤立して、また使ってしまい、刑務所に戻った」「どこにも居場所がない。どうにか更生したい」など切実な思いを綴った手紙をもらうことがあります。アルコール依存症で退院後、入寮する方もいます。病院や刑務所の中だけでは孤立が深まるだけ。社会生活に戻る前に彼らをどう支えていくかが重要です。

Q ダルクでの生活は

A 朝食を作ったり、布団をたたんだりしながら日常生活を取り戻し、食生活、人との関係性などを作りなおしていくことがねらいです。入寮者は子どもの頃に虐待や家庭崩壊を経験し、あたりまえの生活が抜け落ちていることが多い。本人だけで回復させようというのではありません。精神科医、弁護士らいろんな人たちの知恵を借り、ありのままの自分を認めてくれる、安心できる場所を少しずつ見つけ出してもらうのです。私たちが一緒に努力したり、そのためのプログラムを組んだりしていかないと回復はなかなか難しいですね。

ダルクはアルコールや処方薬をやめさせる場所ではありません。入寮したから絶対に使わせないという場所でもありません。選ぶ自由があります。回復プログラムの基本は皆との「ミーティング」。ありのままの自分を認めてもらえる場にしています。言いっぱなし、聞きっぱなしで誰も発言者に意見は言いません。最初は「聞く」ことを大事にしています。仲間の経験を聞き、苦しみも喜びも分かち合えるような場所。誰にも話したくない過去や現実を話せる場所が回復には必要です。

今、処方薬を使いたいと言ってもいいんです。それくらい苦しいんだということを周囲が理解できるような場です。周りの人は非難しないし、逆に正直になってくれたことを喜び合える、そういったミーティングにしています。「自分が生きていていいんだ」と確認できるので自分の自己否定感がなくなります。そうすると、少しずつですが回復に向かっていきます。

Q 富山の現状は

A 富山は三世代同居が多く、金銭的に余裕のある家が少なくないのではないでしょうか。親が依存症の子どもを見放しても、世間の目を気にして祖父母が抱え込んでしまうケースが多いと思います。まだ大丈夫と思い込んでいる予備軍の人たちが結構いるわけです。

薬物依存症で多いのは、医師からの処方薬への依存。最初は不安を消すつもりでいたのが、飲んでいないと安心でいられない、寝られないといった症状が現れる入寮者がいます。

和太鼓の演奏

Q 社会での活動は

A 入寮者で和太鼓のチーム「海岸組」を組織し、福祉施設や富山型デイサービス、幼稚園、各地の祭りなどで年間50本ほど演奏しています。練習して覚えたバチさばきで地域の人たちから拍手をもらい高揚感を得る、子どもたちに喜んでもらうといった経験はとても貴重なことです。自分が健康であることを感じ、人間らしさを取り戻していくことにつながると思います。

農福連携で、草刈りや受粉作業、販売など、ぶどう園の作業も手伝っています。B型事業所として申請中で、入寮者の就労支援につなげたいですね。

農福連携で作業中

Q 若者や若い夫婦へのメッセージを

A 子どもの頃から心の健康を育てること。親が最後まで自分の意見や言葉を聞いてくれること、正しいことを言ってくれることで子どもは安心します。「失敗してもいいからやってみなさい」と言うのもいいでしょう。モノを与える愛情だけでは、心は満たされません。心が満たされないことでゲームや薬物といったモノで埋めようとする行動にはまっていってしまいます。初めて親になった方はなんでも抱え込まず、子育てサークルや自助グループなどに参加してみるのもいいでしょう。

○問い合わせ先
NPO法人 富山ダルク
リカバリークルーズ
富山市岩瀬古志町19-1（18番地）
TEL 076-407-5777

〈まとめ〉

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、外出自粛やテレワークを求められ、ストレスや孤立感、感染への不安や恐怖を感じている方は少なくないでしょう。心の不安に対処するあまり、過度にアルコールを飲んだり、ギャンブルへの依存、長時間ゲームやスマホに没頭したりすることを回避することが重要です。家族や友人との会話やストレッチ、料理、読書など楽しんでリラックスできる時間を過ごしませんか。

情報 FLASH

県社協　県健康・福祉人材センターから

参加者募集！

福祉の仕事小学生親子バス教室

高齢者施設で働く職員やその利用者との交流などを通じ、福祉・介護の仕事について、親子で理解を深めていただける体験型の教室です。

【県西部】●日時 8月10日(月) 10:00～16:00
●会場 鳳鳴苑(高岡市)
【県東部】●日時 8月11日(火) 10:00～16:00
●会場 しらいわ苑(富山市)、あしたねの森(富山市)
●対象 県内の小学5、6年生とその保護者
●締切 7月10日(金)

はじめての福祉の仕事サロン

福祉の仕事についての基本的な内容や現場の状況などについて、お茶を飲みながらじっくりとお聞きいただける機会です。あなたも参加してみませんか?

●日時 7月17日(金)　8月27日(木)
いずれも13:30～16:00
●会場 サンシップとやま
●定員 各月10名(先着順)

事前に下記まで、お問い合わせ・お申し込みください。

令和2年度 福祉のお仕事フェア in TOYAMA

～ 福祉の就職総合説明会2020 ～を開催します!

ぜひご参加ください!

求職者の「就職したい!」と、福祉事業所の「採用したい!」を繋ぎます

福祉事業所等から運営方針、仕事内容、待遇などについて話を聞ける機会を提供します。

●**対象** ●求職者：福祉職場に就職を希望する一般求職者、令和3年3月卒業予定の学生
※履歴書不要、参加費無料。
※県健康・福祉人材センターへ求職登録が必要です。(当日登録可)
●求人事業所：現在求人中または令和3年4月採用予定のある法人等
●**会場** 富山国際会議場

児童・保育分野	福祉・介護分野
7月26日(日)	9月19日(土)・20(日)

昨年度の様子

福祉・介護の“がんばりすと”集まれ!!

～令和2年度がんばる介護職員応援事業表彰募集のお知らせ～

昨年度の表彰式

福祉・介護の現場で元気にがんばっている職員を掘り起こし、表彰・紹介することにより、職員のモチベーションの向上と、介護の仕事に対するプラスイメージの普及と社会的評価の向上を図るものです。

●**対象者**：高齢者や障害者の介護業務に携わる職員で、下記の①～③の要件を全て満たす方
①当該事業所に勤務して5年以上10年未満の職員で、新任職員等への指導・相談に携わっている方
②介護福祉士の国家資格を有する方
③富山県福祉カレッジが実施する「中堅職員研修」「チームリーダー研修」「指導的職員研修」のいずれかを修了した方
●**募集定員**：30名
●**応募について**：各事業所から、対象者の要件に該当する職員を1名推薦することができます。
(複数事業所を運営している法人は、各事業所から1名推薦可能です。)
所定の応募様式は、本会ウェブサイトからダウンロードできます。
●**応募締切**：令和2年7月31日(金)［当日消印有効］

詳細については、下記までお問い合わせください。

福祉の職場を目指すあなたを応援します!

参加希望 問い合わせ先

県社協
県保育士・保育所支援センター
県健康・福祉人材センター
TEL 076-432-6156

【開 所 日】月曜日～金曜日
(土・日・祝日および年末年始を除く)
【受付時間】8:30～12:00
13:00～17:00

●知っておきたい福祉情報●

社会福祉施設経営相談室から

共同募金配分金等の会計処理

中村　厚（公認会計士・税理士）

共同募金配分金等については、次のように会計処理することになります。

①受配者指定寄附金
⇓寄附金として処理
受配者指定寄附金は、寄附者が共同募金会を通じて社会福祉法人に寄附するものですので、「寄附金」として処理を行います。

②受配者指定寄附金以外の配分金
⇓補助金として処理（民間団体からの助成金と同様の処理）
受配者指定寄附金以外の配分金は民間助成金に近い性格を持つものであることから、民間団体の助成金と同様「補助金」として処理を行います。

＜会計処理＞

具体的な会計処理に関しては、次のとおりとなります。

（1）受配者指定寄附金

①施設整備及び設備整備に係る配分金（資産の取得等に係る借入金の償還に充てるものを含む）
⇓「施設整備等寄附金収益（収入）」に計上

②経常的経費に係る配分金
⇓「経常経費寄附金収益（収入）」に計上

（2）受配者指定寄附金以外の配分金

①施設整備及び設備整備に係る配分金⇓「施設整備等補助金収益（収入）」に計上

②経常的経費に係る配分金
⇓各事業収益（収入）ごとの（小区分）「補助金事業収益（収入）（一般）」に計上

（例）（大区分）
介護保険事業収益（収入）
（中区分）
その他の事業収益（収入）
（小区分）
補助金事業収益（収入）（一般）

（例）（大区分）
保育事業収益（収入）
（中区分）
その他の事業収益（収入）
（小区分）
補助金事業収益（収入）（一般）

運営適正化委員会事業報告

令和元年度に福祉サービス運営適正化委員会へ寄せられた苦情は5件、苦情までに至らない相談は23件、併せて28件でした。苦情件数は前年度より20件減少し、相談件数は2件増加しています。

対象者区分では、高齢者関係の苦情・相談が18件で最も多く、次いで障がい者関係が9件となっています。

苦情・相談内容は「職員の接遇」が10件で最も多く、次いで「サービスの質や量」が5件、「利用料」が3件、「説明・情報提供」が2件、「被害・損害」が1件、「その他」が7件となっています。

苦情・相談の申出人は、「家族」が17件と最も多く、利用者本人からの苦情・相談は6件となっています。

また、事業所における苦情解決体制整備状況アンケートの結果では、苦情解決責任者の設置率は99.1%、苦情受付担当者の設置率が99.6%、第三者委員の設置率は73.9%となっています。（回答率49.6%）第三者委員の法人種別ごとの設置率は、社会福祉法人が99.9%と設置率が高いことに対し、株式会社・有限会社は35.6%、医療法人社団が23.1%にとどまっており、事業者の理解を広めていく必要があります。

区分	職員の接遇		サービスの質や量		説明・情報提供		利用料		被害・損害		権利侵害		その他		合計		
	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	
高齢者		4		3		2	1	2					1	5	2	16	18
障がい者		6	2											1	2	7	9
児童									1						1		1
その他																	
合計		10	2	3		2	1	2	1				1	6	5	23	28

○問い合わせ先 県社協 県福祉サービス運営適正化委員会
TEL 076-432-3238

令和2年度 富山県総合防災訓練のお知らせ

県社会福祉協議会では毎年の県総合防災訓練に合わせて、開催市町村において災害救援ボランティアセンターの立ち上げ訓練等を行っていますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、次のとおり2カ年に分けて実施します。

◇令和2年度
図上訓練（関係機関のみ）
実施日 令和2年8月30日（日）

◇令和3年度
実動訓練（滑川市・魚津市・上市町・舟橋村）
実施日 令和3年8月～9月（予定）

昨年の訓練の様子

我が社会福祉法人の地域における公益的な取組

社会福祉法人新川むつみ園（入善町）

新川むつみ園は昭和56年の創設以来、「地域社会に積極的に参加交流をすること」を運営方針としており、地域住民も参加する行事として年間を通じて盆踊り、園祭、鍋祭り、コンサート等を開催し、地域の住民と利用者がお互い楽しむ貴重な交流の場となっています。また、地元の入善高校の生徒さんと利用者が一緒に農作業を行ったり、演奏会に利用者が参加したりの交流を20年以上続けています。

一方、入善町社会福祉協議会が中心となり、町内の障がい者施設および特別養護老人ホームの5法人で入善町社会福祉法人連絡会が平成30年に設立され、町内のショッピングセンター内に高齢者、障がい者に係る相談の場としての「まちカフェ」の運営に協力しています。

また、施設開放やボランティア養成のための体験の場の提供、黒部市社会福祉法人連合会のくろべネットをはじめ各種研修会の講師として職員を派遣している他、福祉系の大学や短大等の実習施設として毎年多くの実習生を受け入れており、福祉系の人材育成の一翼を担っています。その他、災害時における福祉避難所の指定を受けています。

更には障がい者就業・生活支援センター、職場適用援助者（ジョブコーチ）支援事業、障がい者チャレンジトレーニング事業など、障がい者の就労や生活するための各種事業を実施しています。

今後も、社会福祉法人の使命として、地域共生社会を進めていくために幅広く公益的な活動に取り組みます。

楽しいまちカフェの交流

就業センターでの訓練

県社協 県介護実習・普及センターからのお知らせ
令和2年度 福祉用具・アイディアコンクール 作品募集!!

「豊かな暮らしをつくりだし、生活を支援する福祉用具」をテーマに、人々の生活を豊かで快適にする福祉用具のアイディアや作品・製品を広く募集します。また、優れた作品について表彰します。

生活を豊かで快適にする福祉用具や福祉機器、ユニバーサルデザインなど、高齢になっても、障がいがあっても、誰もが快適に安心して過ごすための「あったらいいな!」を考えてみませんか?あなたのご応募をお待ちしています。

■応募資格　県内在住・在勤の個人またはグループ及び県内企業（県内に本社が在する企業に限ります）

■募集内容

	1）アイディアの部	2）作品の部
❶一般部門（個人またはグループ） ❷高校生部門（個人またはグループ）	生活を豊かで快適にする福祉用具の**アイディア**を募集します。 市販製品やリサイクル品を改良して利用するアイディアを含みます。	生活を豊かで快適にする**手作りの福祉用具**を募集します。 独自に考案した介護用品、市販製品の改良やリサイクル品への工夫を含みます。
❸製品開発部門（企業・学校・個人）	**福祉用具などに関する独自の開発製品**を募集します。市販製品、試作品を問いません。 ユニバーサルデザイン、共用品などの福祉関係製品のほか、介護支援ロボットや見守りロボット、コミュニケーションロボットなども対象とします。	

※①、②については未発表の作品に限ります。　※非衛生的なもの、壊れやすいものや危険なものなどは全ての部門で募集の対象外とします。

■応募受付期間　**令和2年8月3日(月)～9月4日(金)**　※応募用紙は当センターウェブサイトからもダウンロードできます。
https://www.toyama-shakyo.or.jp/hukyu/event/#subtop

○問い合わせ先 **県社協 県介護実習・普及センター** TEL076-432-6305 FAX076-432-6307

全社協刊行図書を5%オフで購入できます

全国社会福祉協議会で発行している次の4誌について、県社会福祉協議会を通して年間購読をされた場合、翌年に本体価格の5%を還元します。

◆**月刊福祉**◆
社会福祉の新しい方向を探る総合月刊誌

◆**保育の友**◆
今日の保育問題に取り組む保育の専門誌

◆**ふれあいケア**◆
介護に携わるプロのための応援誌

◆**生活と福祉**◆
社会保障の根幹としての生活保護の動向を追及する専門誌

詳細及びお申し込みは、県社協のウェブサイトからご覧ください。

○問い合わせ先
TEL076-432-2958
○申し込み先
FAX049-257-3111

NPO法人の紹介

誰もが笑顔で暮らせる幸せを地域の交流の場、まちづくりの拠点に

特定非営利活動法人 放生津（射水市）

射水市新湊地区を流れる内川のほど近くで活動する「放生津」は、地域の高齢者、障がいのある人、子どもへの福祉サービスを行い、福祉の増進と地域の活性化に寄与することをミッションに、富山型デイサービス「イヤサー新湊」と、弁当・惣菜を販売する「おかず屋 味幸」を運営しています。理事長の林みゆきさんに活動への思いを伺いました。

Q 設立の経緯は？

2003年、射水市（当時新湊市）放生津地区は道路が狭く、消防車や救急車の通行も困難だったことから、国から「地震時等において大規模な火災の可能性があり、重点的に改善すべき密集市街地」として位置付けられました。そこで13年に高齢者世帯が多い、同地区の「防災まちづくり計画」の一環として、旧中町に高齢者向けの集合住宅が建設されることになりました。1階に富山型デイサービスの福祉施設を設けることになり、法人格が必要となったことから管理運営団体として「放生津」を設立し、13年5月に富山型デイサービス「イヤサー新湊」を開所、おかず屋「味幸」をリニューアルオープンさせました。

Q 現在の活動は？

活動のモットーは、「誰もが安心して笑顔で住み続けられるまちづくり」「誰もが気軽に立ち寄れる地域団らんの場づくり」。「イヤサー新湊」は毎年10月に行われる新湊曳山まつりの勇壮な掛け声からネーミングしました。施設では、アットホームな雰囲気の中で毎日15人ほどの利用者にサービスを提供しています。

「イヤサー新湊」での
バトンを使った健康体操

体温や血圧、体調などをチェックしたあと、入浴や昼食、体操、レクリエーションなどで過ごしてもらいます。「味幸」では「イヤサー新湊」の昼食を作っているほか、利用者の帰宅後の夕食や地域の住民向けに弁当やおかずの販売も行っています。新湊産の新鮮な魚介を使ったメニューが好評です。

真心こもった
「味幸」の手作り弁当

Q 今後の活動、目標は？

介護サービスの充実と、介護福祉に興味のある若い方に活動に参加してもらい、組織として若返りを図っていきたいと思います。地域で開催される七夕祭や納涼祭に出店などしながら、地域の若い方にNPO法人放生津と施設の存在を知ってもらえるよう力を入れていきたいですね。

理事長の林みゆきさん

○問い合わせ先
放生津
射水市放生津町9-24
リアン放生津1F
理事長 林 みゆきさん
TEL 0766-84-2183

あかいはねトピックス

お手元の「株主優待券」でご寄付を…赤い羽根株優サポートクラブが始まりました。

お手元の「株主優待券」が、赤い羽根共同募金へのご寄付で大きな善意へと形を変えます。

赤い羽根株優サポートクラブは、個人または法人がお持ちの株主優待券を換金評価し、寄付をしていただけるサイトです。

ほとんどの株主優待券には有効期限があり、期限を超えると価値が無くなります。

お手元の「株主優待券」の有効活用のひとつとして、赤い羽根共同募金へのご寄付をご検討いただけますと幸いです。

◆寄付金は、使途を選択することができます。（共同募金におまかせ、お年寄りのために、障がいのある方のために、子どものために、ボランティア・NPOのために等）

◆共同募金会へのご寄付は、確定申告により、税制上の優遇措置の対象となります。

※共同募金会発行の領収書が必要です。

※株主優待券によるご寄付については、原則として法人への領収書発行はいたしませんので何卒ご了解ください。

◆中央共同募金会及び本会は、株主優待券に関するご寄付のご登録・お申込み・受領・換金手続き等にかかわる事務作業について、【株式会社優待マーケット】へ業務を委託しております。

詳しくは、こちらの専用QRコード、または本会ウェブサイトからご確認ください。

○問い合わせ先
県共同募金会 TEL 076-431-9800
ウェブサイト http://www.akaihane-toyama.or.jp

ボランティアグループ紹介

脳トレで心身をいきいきと！認知症予防
滑川の脳トレリーダーにおまかせ

滑川キラリン 脳トレクラブ（滑川市）

「滑川キラリン 脳トレクラブ」は、2018年度に富山県と滑川市の社会福祉協議会が共同開催した「脳トレリーダー養成講座」を受講した卒業生17人で19年4月に設立されました。県内各地で養成講座が開かれており、滑川キラリンのメンバーは10期生にあたります。クラブの名称は、ホタルイカをモチーフにした滑川市のイメージアップキャラクター「キラリン」に由来。「アンチエイジングを目指し、脳トレでキラリと冴える脳に。家に引きこもらないで人とのつながりを大切にしましょう」と会長の毛利豊さんは活動のねらいを話します。

毛利豊会長

「脳トレ」とは、脳機能解析学者の田淵英一教授（富山短期大学）が発案・提唱する、脳機能を維持・改善するためのトレーニング。計算やパズル、言葉の穴埋めなどクイズ形式の問題で構成されます。

時計盤を表裏反転させて時間を答えてもらう

滑川キラリンでは4班に分かれ、依頼のあった高齢者福祉施設や地域の公民館などを訪問して30分から1時間ほどの脳トレ教室を開き、普及活動を行っています。教室では最初に歌いながら体を動かしたり、暗算をしながら歩いたりと、脳と体を同時に使う「コグニサイズ」で脳を活性化させます。その後、問題プリントに解答してもらい、最後は整理体操でゆっくりと体をほぐします。

脳トレメニューは、詩を2パートに分かれて朗読する「ふたり読み」や後出しじゃんけん、クロスワードパズル、四字熟語など、養成講座で勉強した問題や、メンバーで知恵を出し合って作ったオリジナルなものです。

「脳トレを楽しんでくださる皆さんの笑顔がやりがいにつながっています。指導の仕方をちょっと変えるだけで、正解者が増えたり、上手くできるようになったりと、皆さんの喜びを感じられることもうれしいですね。脳トレ教室の依頼を受け付けています。気軽にご相談ください」と毛利さんは強調します。

教室の最後のメニュー・整理体操の様子

○問い合わせ先
滑川キラリン
脳トレクラブ
会長 毛利 豊さん
TEL 080-6351-1036

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和2年度

ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

保険金額・年間保険料（1名あたり）

保険金の種類 ＼ プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円（限度額）	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術保険金 入院中の手術	65,000円	
	手術保険金 外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円	
	地震・噴火・津波による死傷	×	○
賠償責任の補償	賠償責任保険金（対人・対物共通）	5億円（限度額）	
年間保険料		350円	500円

団体割引20%適用済／過去の損害率による割増引適用

＜基本プランに加入される方へ＞
基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。
◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。
※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

http://www.fukushihoken.co.jp
ふくしの保険 検索

商品パンフレットはコチラ（ふくしの保険ホームページ）

ボランティア行事用保険（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）
送迎サービス補償（傷害保険）
福祉サービス総合補償（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
〈引受幹事保険会社〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03（3349）5137
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、12/31～1/3を除きます。）
損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03（3581）4667 FAX：03（3581）4763
営業時間：平日の 9:30～17:30（12/29～1/3を除きます。）
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〈SJNK19-12918 2020.2.10 作成〉

企業のトップが考える「地域との共生」

Vol. 08

株式会社フードシステム
代表取締役社長
魚谷　和彦氏

食を通して、喜びや感動をお届け

県内企業の従業員の方向けに昼食弁当「フレッシュランチ39」を毎日1万5千食ほど作り、お届けしています。また、企業や大学の食堂運営、幼稚園給食も展開しています。食品製造会社として最も重要なのは食の安心・安全です。2008年に食品衛生管理の国際基準「HACCP」の認証を受けるなど、衛生管理の徹底を図っています。

特に、いまだ収束が見えない新型コロナウイルスや、梅雨時の食中毒には細心の注意を払っています。当社が手がけるのは"ハレ"の食事ではなく、日常食。何か問題が起これば、お客様の健康や命に関わることはもちろん、業務に支障が生じます。とりわけ高齢者施設では、食事の提供はライフラインで、ストップするわけにはいきません。どんな状況になろうとも食を通して社会貢献したいと常に思っています。

お母さんの"代行業"

1988年、入善町にある実家の鮮魚店から一念発起して独立しました。昭和末期、女性たちの社会進出が活発になり、お母さんたちから「明日のお父さんの弁当のおかず何にしようか」といった悩みを聞いて、宅配弁当づくりを思いつきました。創業以来、食べてもらう人の身にたった料理、調理方法を心がけ、県産コシヒカリを使うなど食材にもこだわっています。「美味しいか、食べやすいか」「咀嚼に問題がないか」など、管理栄養士や調理担当者がいろんな視点からメニューを検討。年配の方には、炊いたお豆やおすわい、シズル感のあるメニューなどが好評です。

ただ、わたしたちの仕事はお母さんの「代行業」なんです。料理は家族への"思いやり、愛情のあらわれ"です。商売としてやってはいますが、私たちの仕事が幅を利かすことはあまりよくないと思うことがあります。家族を思い、「今日、主人は二日酔いだからおかゆにしましょうか」といった愛情が大切なのではないでしょうか。子どもにはお母さん、お父さんが台所に立って料理を作るのが一番いいんです。「あてがいものでお腹をいっぱいにすればそれでいい」ということでは、愛情が足りません。料理する姿を子どもに見せるなど、親としての愛情表現をしっかりしていれば子どもは健やかに育つはず。そんな思いから、湯せんや電子レンジで温めるなど、ちょっと手間をかけてもらい、料理気分を味わって食べられるような弁当も開発中です。

介護施設向けに新商品

コロナ禍はまだまだ続くと思われます。非接触での食の提供も考えています。たとえば、社員食堂では一品ずつパッケージしてショーケースに並べる。お客さまにはセルフ方式で選んでもらうといったようなスタイルにトライしていきたいと思います。

高齢化で後期高齢独身族が結構いらっしゃいます。料理をするのが大変という方には、「夕食宅配弁当」、介護施設には「らくっく39」という名称で調理済み総菜パックをお届けしています。

食を通じて健康増進、免疫力アップなど、世の人の役に立ちたいという思いはずっと変わりません。今後も食に関する社会の困りごとをフォローし、みなさんに喜びや感動をお届けしていきたいですね。

介護施設向けの「らくっく39」

賛助会員の皆様におかれましては、格別なご支援をいただきありがとうございました

●平成31年度賛助会員（企業・団体、個人） 敬称略・五十音順 ※賛助会員様のご意向を確認して掲載

【企業・団体】

(株)アルト、NPO法人安全企画センター、いきいき越中玉すだれサークル、(株)池田屋安兵衛商店、(株)石橋、FMとやま、大沢野南部地区社協笹津支部、小野医療器(株)、北日本印刷(株)、北日本放送(株)、(株)シー・エー・ピー、サカ㐂産業(株)、サーマエンジニアリング(株)、鈴木工業(株)、(株)立山農園、大日商事(株)、大和電建(株)富山支店、(株)チューリップテレビ、(株)富山県義肢製作所、富山県自治会連合会、NPO法人富山県腎友会、富山県生活協同組合連合会、富山県綜合警備保障(株)、富山県民共済生活協同組合、(公財)富山コンベンションビューロー、(公社)富山青年会議所、富山三つ星山の会、(株)日本旅行TiS富山支部、ハマ企画(株)、病院ボランティアすずらん、ホテルグランテラス富山、(株)立業社、ワールドワイド(株)

【個人】

左郷武雄、渋谷征雄、杉原眞佐子、杉林順子、多賀正夫、高倉寛治、髙山光夫、竹内美和子、谷口猛、橋本昭子、樋口ちづ子、藤井哲子、水上正宏、吉田勝代、柳溪暁秀

賛助会員募集中！

富山県社会福祉協議会は、社会福祉に関わる様々な課題の解決や、福祉サービスの向上などを目的として、広報・啓発や調査研究、講座・研修、ボランティア・市民活動の推進、権利擁護、福祉人材の確保、施策提言など、幅広い活動を行っている公共性の高い非営利の民間団体です。

福祉サービス提供事業者、福祉団体、行政組織、ボランティアグループ、NPOや市民活動団体、企業など、県内の福祉に関わる関係者の幅広いネットワークづくりを通して、だれもが暮らしやすい地域社会の実現を目指して活動しています。

こうした活動を財政面から支えていただく賛助会員を募集しています。

〈年会費〉

●企業・団体　1口 10,000円から

●個人の方　1口　3,000円から

※ご協力いただける範囲で何口でも結構です。

○申し込み及び問い合わせ先 社会福祉法人 富山県社会福祉協議会 総務企画課
〒930-0094 富山市安住町5-21
TEL 076-432-2958 FAX 076-432-6146

福祉とやま
令和2年7月1日発行 No.452
発行者 社会福祉法人 富山県社会福祉協議会 〒930-0094 富山市安住町5番21号 TEL076-432-2958 FAX076-432-6146

県社協のおもな動き

7月日程	行事名	場所
10（金）	日常生活自立支援事業契約締結審査会	サンシップとやま
17（金）	はじめての福祉の仕事サロン	サンシップとやま
26（日）	福祉のお仕事フェア in TOYAMA（児童・保育）	富山国際会議場

8月日程	行事名	場所
7（金）	日常生活自立支援事業契約締結審査会	サンシップとやま
	第1回障害児保育研修	サンシップとやま
18（火）	高校生等の福祉の魅力体験バス教室（富山）	あしたねの森ほか
19（水）	高校生等の福祉の魅力体験バス教室（高岡）	射水万葉苑ほか
21（金）	高校生等の福祉の魅力体験バス教室（新川）	あんどの里
27（木）	はじめての福祉の仕事サロン	サンシップとやま
	第2回障害児保育研修	サンシップとやま
30（日）	富山県総合防災訓練（図上訓練）	

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、変更する場合があります。

ご寄付ありがとうございます。

●寄付者一覧 3月19日から5月15日まで

●株式会社大坪 様　20万円

5月15日、ライオンズクラブ国際協会（334−D地区）地区ガバナー山岸博之様（左）から県社協 車専務理事へマスク1万枚の贈呈

県内の社会福祉事業振興や地域福祉推進のために活用させていただきます。

編集後記

家庭崩壊、自殺、入退院の繰り返し…依存症の話を聞く中で、本人や家族のつらさを思うと胸が痛み、涙が出ました。怖いのは、ちょっとしたことで誰でもなりえる病気だということです。新型コロナウイルス禍がきっかけで罹患することも心配されます。三密を避け、ソーシャルディスタンスを守ることはもちろんですが、個人個人が十分な睡眠と栄養、適度な運動で心身共に健康でいることがなにより大切なのではないでしょうか。

Free Talk フリートーク

福祉に携わる者として思うこと

特別養護老人ホームだいご苑
施設長 野村 幸伸さん

世界中で新型コロナウイルス感染症が蔓延しています。メディアでは取り上げられない日は1日としてありません。そしてネットではデマや憶測が飛び交い正義感から相手を非難したり等、疑心暗鬼を生んでいます。本来、誰が悪い訳ではなく皆で立ち向かうべきことです。

トマス・ネーゲルという哲学者は「モラルラック」という言葉を使っています。同じことをしていても誰かが失望し、誰かが成功するかもしれないという意味です。同様に昨年の東京大学の入学式の祝辞で話題になった社会学者、上野千鶴子氏も「世の中には頑張っても報われない人、頑張ろうにも頑張れない人、頑張りすぎて心と体を壊した人や頑張る意欲をくじかれる人」がいることを指摘し、恵まれた環境や能力をそういった人たちを助ける為に使って欲しいと学生に伝えました。

私たちは二項対立構造をつくりがちです。その方が楽だからです。しかし先に挙げたようにどちらかの側に立つと、もう一方の「声」が聞こえづらくなったり、どこにも含まれない「誰か」の存在や「声なき声」が聞こえづらくなります。東日本大震災でもそうでした。「迷惑をかけたくない。自分さえ黙っていれば…」と我慢してきた人が避難所に多くいました。

福祉に携わる者として、どこにも含まれない「誰か」を意識し、「声なき声」を聞く必要があります。そうすることで、近年よく使用される「地域共生社会」という実態として捉えにくい言葉にもほんの少し色が付き、目指す方向がわかりやすくなるのではないでしょうか。

ウイルスの前で物理的には否定される「寄り添い」「繋がる」といった福祉の現場で築き上げてきたことを敢えてもう一度挑んでいきたいと思っています。

本誌に関するご意見・ご感想をお聞かせください。
●ウェブサイト https://www.toyama-shakyo.or.jp/
●メール info@toyama-shakyo.or.jp
ハーティは富山県のボランティア活動のマスコットマークです。

社会福祉法人　富山県社会福祉協議会は
住民主体の地域福祉の理念に基づき、だれもが安心して暮らすことができる福祉社会の実現をめざし、県内の民生委員・児童委員、福祉施設、福祉従事者、ボランティア等で構成する、公共性と自主性をもつ民間社会福祉組織です。